

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地		
所在地	三浦郡葉山町下山口・一色・堀内		
サイトURL	http://www.hayama-park.com/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（葉山公園：昭和32年4月、はやま三ヶ岡山緑地：平成9年7月）		
指定管理者名	三菱電機ライフサービス株式会社		
指定期間	H27.4.1～R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p><今後の方針等> 利用状況がA評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価となったため、3項目評価はA評価となった。</p> <p>(1)葉山公園 今後も、海浜植物やクロマツを保護・育成する維持管理や地域との協働による公園管理等の良好な取組を継続するとともに、利用者層の拡大に向けた更なる取組の充実が望まれる。</p> <p>(2)はやま三ヶ岡山緑地 今後も、植物育成のための良好な維持管理及び自然を活かしたイベントを継続するとともに、公園内や公園周辺の安全を確保する樹林管理について、更なる取組の充実が望まれる。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 葉山公園は、景観の保全や魅力向上を図る取組が行われ、提案どおりの管理運営状況にある。はやま三ヶ岡山緑地は、都市林としての良好な自然環境の維持・保全に取り組み、提案どおりの管理運営状況にある。</p> <p>(1)葉山公園 維持管理に関しては、クロマツの保全のため松枯れの処理した分の補填として植樹を実施し、裸地化した芝生の修復を実施するなど、公園の魅力に向けた取組がみられる。 利用促進に関しては、葉山公園前の海岸を利用した海のワークショップを開催し、またイベント内容が雑誌に掲載されるなど、利用者の拡大に向けた取組の充実がみられる。</p> <p>(2)はやま三ヶ岡山緑地 維持管理に関しては、日常的に丸太階段の点検補修や消防用ポンプエンジンの作動点検の強化を行うなどの施設利用者の安全に努めている。 利用促進に関しては、公園の魅力に触れてもらうため、自然や歴史のイベントを充実するほか、各コース入口から山頂広場までの動画をホームページに掲載するなど、来園者の増加への取組が図られている。 地域連携の取組に関しては、地元NPOと連携した地域イベントの開催など、イベントを通して地元の方が公園に親しめる機会の提供にも努めている。</p> <p>◆利用状況 利用者数は前年度比で99.0%と減少したが、年間を通じマリンレジャー客や定期的に団体客が利用しており、目標達成率は103.3%となったため、A評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が94.7%と高い評価を得たため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 目標値以上の利用者数で、駐車場・自販機収入が増え収支比率104.05%となったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 植物の育成状況を考えた除草をしてほしいとの要望に対し、スタッフ全員が分布状況や開花時期等を共有し、野草も刈らないよう注意を払いながら除草を実施した。</p> <p>◆事故・不祥事等 なし</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>

3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2回程度	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設の維持管理 (1) 葉山公園の維持管理について ①クロマツの保全 ②裸地化した芝生広場の修復 ③トイレコーティング ④海岸線手すり・ベンチ等の塗装による長寿命化対応	(1) ①松枯れを起こしたが、県とともに迅速に伐倒処理をした。 ②環境性・効率性を重視した品種の高麗芝を試験的に張り、通常の高麗芝との違いを確認した。 ③便器のみならず洗面台も実施した。 ④塗装前にはヤスリで磨きあげてから塗装し、清潔感をも保った。	
(2) はやま三ヶ岡山緑地の維持管理について ①園内看板のリニューアル ②バリアフリー化 ③消防用ポンプエンジン作動点検の強化 ④ベンチ等の塗装による長寿命化対応 ⑤劣化した丸太階段の補修	(2) ①各コース入口3か所に、業者と綿密な打ち合わせにより総合案内板を設置した。 ②丸太階段での昇降施設のため、バリアフリーへの取組は難しかったが、各コース入口から山頂広場まで実際の登頂動画をホームページに掲載した。 ③従前は年一回であったため作動が悪かったが、年4回に変更し、円滑に作動するようになった。 ④葉山公園同様、塗装前にヤスリで磨き上げてから塗装し、清潔感をも保った。 ⑤ツツジコースを中心に腐食した階段の補修を行った。	

<p>利用促進のための取組 (1)葉山公園の利用促進方策について ①誰もが楽しめるイベント・教室の実施 ②パブリシティ活動</p>	<p>(1) ①「海のワークショップ」 「七夕飾りに願い事」を「スケッチ教室」等を開催し多くの参加者で賑わった。 ②イベント開催にあたり新聞社・雑誌社への掲載が叶い盛況につながった。</p>	
<p>(2)はやま三ヶ岡山緑地の利用促進方策について ①誰もが楽しめるイベント・教室の実施 ②プロモーション活動</p>	<p>(2) ①「森と海のワークショップ」「プチハイキング」など、年間を通して様々なイベントを実施した。 ②各コース入口に総合案内板を設置。 また、その横には手作りのリーフレットケースを設置した。イベント開催時は、広報、教育委員会、児童館、町内会掲示板等々への掲載を実施した。</p>	
<p>地域と連携した魅力ある施設づくり ①地元NPOとの積極的な連携 ②近隣関係機関との積極的な連携</p>	<p>①上記開催イベントは全て地元NPOと連携のうえ実施した。 ②近隣自主保育団体と「コミュニティガーデン作り」イベントを実施。 近代美術館も加え「スタンプラリー」を実施。</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
利用者ニーズに応じた自動販売機を設置	ニーズに応じた飲料等自動販売機の設置を継続した。
レンタルサイクル事業の実施	バランスバイクを無料設置し、公園利用者の利用頻度、認知は進んでいる。引き続き、レンタルサイクル事業の実施に向けて検討・調査を実施している。
レジャー用品レンタルの実施	レジャー用品の無料レンタルを行い、公園の賑わいに寄与している。さらにレジャー用品の種類を増やし、利用者からも好評を得た。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
A	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	175,069	167,978	166,264
対前年度比		95.9%	99.0%
目標値	152,784	161,011	161,011
目標達成率	114.6%	104.3%	103.3%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 葉山公園：駐車場台数及び団体利用者数から推計
 はやま三ヶ岡山緑地：目視による計数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント1回の計7回調査の結果を使用する。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 188 / 188 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	129	49	6	4	0	188	
回答率	68.6%	26.1%	3.2%	2.1%	0.0%		
前年度の回答数	91	56	2	5	1	155	
前年度回答率	58.7%	36.1%	1.3%	3.2%	0.6%		
回答率の 対前年度比	116.9%	72.1%	247.3%	66.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	13,199	0	13,127	駐車場:12,572 自販機: 555	26,326	26,326	0	
	決算	13,199	0	15,243	駐車場:14,555 自販機: 688	28,442	26,315	2,127	108.08%
前年度	当初予算	13,199	0	13,190	駐車場:12,635 自販機: 555	26,389	26,389	0	
	決算	13,199	0	15,910	駐車場:15,165 自販機: 745	29,109	26,616	2,493	109.37%
令和元年度	当初予算	13,443	0	13,253	駐車場:12,698 自販機: 555	26,696	26,452	244	
	決算	13,443	0	14,917	駐車場:14,160 自販機: 757	28,360	27,255	1,105	104.05%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。